

経済学部

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
<p>①経済の運動や企業の行動についての古今の学説を知り、社会科学についての教養を深め、経済社会の仕組みを知る。</p>	<p>ディプロマ・ポリシーを達成するため、一般教育科目に加え、専門教育科目も1年次から体系的に編成している。</p> <p>①1年次向けに経済学・経営学を学修していく上で基本となる科目、2年次向けに経済学・経営学関係の基礎的な理論等、3、4年次向けに応用的な科目を配置し、体系的なカリキュラムを構築する。</p>	<p>一般教育科目（基礎科目、自由科目）と専門教育科目（専門科目、専門関連科目）から成る。各学科の専門科目の編成は以下のとおり。</p> <p>経済学科：理論・歴史、経営、法律の領域の科目（詳細はシラバスに記載）</p> <p>経営学科：経営理論、経済、法律の領域の科目（詳細はシラバスに記載）</p>	<p>①高等学校で英語、国語、数学、理科、地理歴史・公民に関して十分な基礎学力を身につけた学生</p>
<p>②現実の経済・経営を分析する能力を持ち、政策について判断する力を身につける。</p>	<p>②経済学科、経営学科とも「専門科目」、「専門関連科目」の2つの科目群からカリキュラムを構成し、専門性を高めると同時に、専門に関連する幅広い分野の科目を履修できるようにする。</p> <p>③地域産業の発展に寄与することを旨とするともに、本県とつながりの深いアジア諸国の経済・経営に関する科目を設け、特色あるカリキュラムを構築する。</p>	<p>経済学科：政策、国際、現代社会とその課題の領域の科目（詳細はシラバスに記載）</p> <p>経営学科：情報・会計、企業・立地、現代社会とその課題の領域の科目（詳細はシラバスに記載）</p>	<p>②社会の仕組みや運動、企業の行動について興味を持ち、それらを知ることにより意欲的である学生</p>

<p>③自らの頭で考え、自らの進路を切り開くことができる自立した個人に成長する。</p>	<p>④専門教育の中心の一つとして、2年次前期に「基礎ゼミ」、2年次後期に「外書講読1」、3年次に「演習1」、4年次に「演習2」および「卒業論文」を設け、「ゼミナール方式」による一貫した少人数教育を実施する。</p> <p>⑤学修成果の評価は、科目毎に成績評価の方法を設定し、シラバスに明示する。</p>	<p>両学科：外書・演習の領域の科目（詳細はシラバスに記載）</p>	<p>③経済学・経営学を学ぶことで、自分で考え自分で判断する力を身につけたいと考えている学生</p> <p>④経済学・経営学について専門的知識を身につけ、それを将来就く職業に生かしたいと考えている学生</p>
--	--	------------------------------------	--